說

\*

での影響、八十歳以上を翻答。四、頭根が背とむからと廻る、な世間をの影響を活躍さる関係で観り、四年になってとなりましまり。 聞き

以上ならことを引導し続い。明ら、とて、安全の向上、自然の場合の上間は影響をあらいいったが、東、彼らの説が、再覧自身の影響の上間は影響をあらいいったが、東、彼らの説が、再覧自身の影響の上ではない。

の歌っるをは、いつれの別の自じてお 鬼鬼部郎で変更を現だ、鬼でを称って。明さ、科器を摘り組みだけ、終、き見をことは、半部の科学力によい。 をはいることは、それがそのま。全主権力の指揮の上げ、戦略は一発 書質、歌聞くの那事を推加する所以で、歌を表現したるの。全て歌劇に承 を表現したる。

科學技術力を最高度で綜合建理し一半島の負荷する絶対関係

関語さる物金 関的研究院目を形定するため原料関語との 番 科の技術策略画を設めてることと

術審議會規程

務局長、大批局務局長、自石処務局長、大批局務局長、丹下艦務局長、大批局務局長、早田法

**委員 江口阙工局县、** 

正喜、鈴木高風碑、目空開碑、明、筒井竹雄、阿部選一、牧川 幹事 井坂圭八良、山名淵區

細見正義。角永潤、小田正蔵、奥村重正、山地増之、木野協議

表していた。それに多力してあった。

問長、伊藤威務官、美根事務

川裕、矢代道天、山岡敬介、田岡協四行、阿部泉、岡區俠助、据

朝鮮總督府科學技

委員長に政務總監

| 東郷は三月卅一日之際一館の書館 | 中間地と皆むみん北方四キロのモレ | 世間地と皆むみん北方四キロのモレ | 世間には、「世間には、「世間には、「世間には、「世間には、「世間には、「世間には、

わが細蛇の田蘭郷環内に神経され

動員體制

の確立

各所が撤開に基本しる連次性別に発力してを決定のうべ、無可別に

第六條・保險會に断記を配く、

**増加** 円が原制の、林陽宮長、碧岩崎

個人的質見や感種を破

はものである、而して第一回 置に間を確立せんとする観視的

第五條・物節館に許事を置く、朝

下官民一致して継続打開と、大きは勿論であるが、この人きは勿論であるが、この

政務總監發言

高層係物質配給統制がと取

機能府部内高等官の中より別

業場の技術館に物的施設の一

長期故めるときは留長の指名す 念点其の職務を代理す

規程師と委員氏名左の通り

怪之を命ず

麒麟祭行判任官の中もの明朝

の茶を埋る英印里の抵抗を除げて

科學技術審議會を設置

育泉運動と成功した 関下語部一山脈の暖暖を突破、コレマ道 万シドウイン河を腹河、バ

> インパールを表る廿半口の地跡。関し地域を続けてあるといけれるらに地域を獲得し、現在すでに、一ル取開方のみム、パレル道路に 日本軍はインバール東北方でさーよれば日本軍の徳気部隊はインバ

を歴失したダムの威敵もわが部隊 よって窓に略落し酸は大打磨を被

ヒマーシャル、カロソン、ビスマ

訓べるもの 了水戦果の

表は、一般の有力なる機動部隊がカー問題であり、かくる敵果をあげた てゐたが、果然四日の大本宮冠と、既局と敬果とはおのづから

つある時、もとより前級勝兵不配一切を駆けて成力均強に集中しつ 味方ともに公死の攻防院等を整へ 味方ともに公死の攻防院等を整へ

でれての高年間として、常然かっ。 もじめゃべきことを観けると明まれたのは、特に対象技術的では、最初間のカによって、如常に関すったのは、特に対象技術的では、一般ないのでは、対しないでは、対している。

南部市において自て総対中である 力を徹安さらかとと認識すると、常知の関熱があいてかべきである に、震楽者を中心として、190~の 研究派自については、明朝、科風人まなど、に語ばれ、悪多様の 研究派自については、明明、科風人まなど、に語ばれ、悪多様のである。

し得べく、特にバラオ島方面

特に多い。されば単に武力脈のみれを科型力の結集に俟つべき點は

が、その完了次第科學術議會を買

食によって、それくくの研究命令

趣味によって、

あるが、近代職の様相として、こ

祭する時、 戦の機動部隊が

し近来の快順果といはなばならぬ

那大阪からする日米航空流転が、現と敵略ニミツツの呼吸する支 いまなを展不可能なる情感にある

科學總動員

趣技術報味質を設け、新年度より が重官民の御殿者をあつめて、科

用智統

め、朝鮮研究所の 勝三部曾をしてそ

若干人を以てごを組織す

別めるときは臨時できを嵌くこ

**研技师、本多家家合技师、山家** 

憲記

**春台、南北、丘家** 

即、潮水学一四中保太郎、青田日出身、松本一

**天村夏、佐藤城大数夏、** 

經濟醫館所需謀長、野宮中無海

玉山を爆襲

西省東路の東面玉山を空襲、多東

を加へて、その六十機を戦隊破し

わが所在部隊が破空風部隊と

へ死りつくあることをおれてはな

をすべきごとを、今次大本意意表

(端線部盤) 除部化械機軍民國るす進幕へルーパンイ

第四国際の主力を応目に基かマニブール平原を睥睨、インパール前衛機能をつぎくと国流しと破滅。 おいてインバール、コヒマを結ぶ政策大の機能的を真全に実際したわぶ部隊はその後周環線領す

日を出でずして展開されんとして「ンザン 暦北方廿キロ)附近の

東北廿キロに迫る。

インパール攻略の職ひは、ころ数

の熱攻壁艦繋を完成するに至った、一方廿九日以來インバール原側を流れるクリル河

「中部緬印國境〇〇基地長谷川報道班員三日發」サ八日後十時シッション

三方面より突入せん

7ク(インバール東北世キロ)を過渡した他の暗部隊はマニブール街道を突破し誘躍南へ帰還、イン

日印軍決河の

進撃 てすでにその機能の機は別々と組

日インバールの信機を認め次の通

に進出するに至つた

モレ、要照はわが部院の北上りの

の資名と退却を開始し、わが部隊

に猛攻を加へてゐる は南方および西方地區で博りこれ

かくてタム周邊にあつた第十品

軍と協力してその慰問な戦地に猛をり、わが精鋭各部隊は印度國民

の足能統一及び防空間熱の幅化に 第6開催、田中政務総監より官吏 時世分から三時間ご見り第三會職 は印度長を確地内に残して西北方

一個旅館が我包閣網に對し込まれては極土航館の一部と第十三航館の

既を受けて四方へ逃走した、同時

レ以西のタム、ベレル街道で

るに至つたが、敵は有力な他兵を

秘督団 定例局長 意識は四日午前九一ついて破

受けると、江西町高度との総合機関の原金を持ち、江西町月(日)女子は職日(日)女子は職日)を行る暗異さ、また郷田)を行る暗異さ、また郷田

徵用、配給機

もつて最後の抵抗を試みんとして

班員三日殿」 タム四北方五キロの

数三日級)タム四北方五キロの「かられて大概観を來し、悪人都終 「網印國第〇〇前線が地中島戦逝」のモレ寒人によって北方背後を寄

ムの残敵も大混亂

他的一层事情级小印度國民

協力と相求って今や印

で放し一様に熱温を下ってマニブール本原に突入を取行する態態である。

部十十日附近とおいて敵木撮影で壁の前哨破を演じつくあったわが諸部隊は盛めに頑硬なる敵災略

ち今次カロリン
静陽東間方ならびにベラオ
勝陽万面「密応するならば、不の長力は相信財産のものであり、大であるこだ、敵は航空を力を主催とした復往動切し算大なる光意と行動を要する原修しめる。すなは「生敵、緊急配子の服験診断を敷かあるだらう。そと、しかりて海洋作戦は関心にむしたの指移の領境が厳化しつ、あり取励が動物は極めて過速な相縁を試しせる希力なるものであって、常然これに時間して巡しなければさればし

インパー

ル總攻撃の

関係の派展でりを設慮なく 壁の出展であり 競点をる場

全く殲滅す

十七師の残敵

原合・関部報道が開始! トンザン

経滅により文字道り第十七時間の、体域この他形像者で後述された者

が日印南駅軍の猛攻で孤城状態と

(シンゲル北方十五)

つた第十七記職の疑察試為戦にわ北方山中およびシンゲル附近にあ

ある

態勢全く成る

階級これに附随して

に出版せる敵機助部隊は十級隻の航空母艦を共命と

はまだ相階なる残存兵力をもつてあることを注意し 機動部隊に刺し胁からざる損害を見へたとはいへ破 であることは容易に想像される、從つてこの出象敵 機を撃墜破し之を撃退せり

戦局は發展す

に『ニューギニャ』島方面を特に頻繁に今襲せるも所在我が部隊は直ちに反撃を加へ、敵機約六十一、敵は其の間基地航空部隊を以て『アーシャル』諸島、東『カロリン』諸島『ピスマルク』諸島並

所在我が部隊は之を邀撃し其、の約八十機以上を撃墜せるる、我が方若干の損害あり

炎上せしめたるも、敵亦三月卅日より四月一日に亘り『バラオ』諸島『ヤッブ』鳥並に『メレヨン』『二隻を撃沈、戦艦三隻、航空母艦一隻、大型艦一隻其の他を大破若くは出現。同方師の我が航空部隊は之を指揮、三月廿九日夜より四月一日に亘り反復攻撃を加へ巡洋艦

大本一堂(安美)(館和九年四月四十五時)、二月廿九日有力なる敵機動部隊「カロリン」諸島南方海面に

隻を撃い

にまるアンマの福祉 にはまめアシマの福祉 に対した。 では、カイン・コトラントのでは、カイン・コト

係が完全に対池した りざらに機能的な高速をもつて一般局は破壊するも

一戦艦 きである こそ決定的勝利への唯一の道であることを銘配す

## 魚雷命中

防空域の増設ン三国門

幕

は、一般のでは、一般の 空神幽一、大型軍艦三隻を降沈、一方海面に死機した、警戒中のわが の、九日夜から四月、日に違って原復の文献を加入を、 増設するに決定したといはれる 明を計数。取廢市内では防空場を 型にロイター開展館によれば重度 るため西支那住民十八周以上の疎 米も對土輸出停止

日の附日には恩歌トラック席を至 20世長名一月卅日癸如マーシャル職 15年

(東京電話)、欧米原有力機動作隊

殿、夏と二月廿三日だは内南 島を空襲し來ったが、マリアナ領

すなはら廿九日は航祭社監 ならびにデーリー・テレグラフ 「リスポン三日同盟」タイムス紙を九十百十八機と三日懿義じた、

は魚質命中、大阪網をしめ、これを大阪炎上せしぬ、一番艦の配置 いかいもまた武器部の部によれば短回の対

る他大型殿一學を大破炎上せ 経歴二変を墜沈、一変一変

から四月一日に国ってバラオ解行しから四月一日に国ってバラオ解行 かし敵機動部隊は宝を三月卅

十五種、その他の方面において唯一を眼縁がしたのである

ンバール平地に迫りつく一バレル街道上の要衝を占

果敢と独敞的に切かへることが必に言意等物を取めげてこれを強速

へにあり 足岭土郎 渡邊路助

報隊全滅

で近く一定年齢所の男子の一般微一院人勢新華間について報告、大い

**濒工局長** 內地0年

結核と紙

一重の潜

所究研菌トスー

丹下警務局長 防傷縣

數機來襲力

た、すなはち世、世一の兩日を

ラバウルに一百

一を製造した、わが方頂点なし |所在部隊はこれを激展、空間によ

そ二機を撃破して、とれ

東海岸に廿五機來襲

解検を長どした長二

林交通局長・大学を

足が倦。

だしざば女子郷成を鎮用と混同し ふかの消費が流布されてをり、数にについて後官、女子餞用を行

に御用心 伏性脚氣

敬はまたその間基地航空部隊を

平

「大力監急

島諸ンリロカ

ルロス 島諸仏市 ・島グッラー 島ノチジ ・島グッラー ロートット島

・島ドウラバ ・島ドウラバ ・島筋リインアトンセ ・島ルブ ・島アリフ

ウオツゼ、タロア扇方面、東カロもつてマーシャル斯屋のヤルート

Signity Signity KVQ)局 XJEC高

(原典法に基くトル・サルバドルに革命 ・ 在印緬支 ・ を選択で誇り太関・発駆戦・戦闘域・戦闘域・総選機である した間議長した。 ・ とれば関の対 %であり、このうち八十六%まで、ソフラセレス・・

. 「リスボン三百同盟」 ワシントン

軍挺身隊司令 [原图]

員九萬五千で、休売し

限してゐることが判明した・・

るが、三日常経営の

號月四

の記します。

抑減されればならぬ

2番 石以生西淡定を終えること一・五、ネロスが繁飾し、後年に圧現薬相ン紙 石以生西淡定を終えること一・五、ネロスが繁飾し、後年に現薬相へ入紙 を九千百十八巻と三日巻泉じた。 日夜前相電外相エマヌエル・ツー

ソプラセレス・ペニソロスを推翻

人は反對を表明し、三日朝に至っ

業を要認したが、六萬

ソンは三月中の米國際行動生物は、医・サンド・丘歌な関係のは、 きず、ロンドン楽館によれば、微寒は・米國際時生の脳がだけイル 「マスボン」三百周と、カイコ、水・叫な感覚したたらがは子だら微淡

坑主は一日夜緊急資産を開催し、党

窓の工業上乃至私的の消配く限り石炭、互切なら

亡命希首相辭職す

クシャー炭坑御楽は開始以来一週

英國政府の決定に基をスコット 態子でニヤーダークリ

飼を妙法

害蟲で鯉

□ 魚田 東京 生活物を表現をやりぬけ機次郎

世界戰局於的敵の旗色

英の罷業益々深刻

**東昭=米國館時生露局水長ウイル** 

米三月の飛機生産

に際域グワテマラに亡命したといる。まれば、大統領ニルチネスはすで、

競したとの報道を修受した。

十数隻を非常とする隣の有力なる月代九日航空程度、戦闘を合せて

全部院は先制攻撃を加へ航し、敵機動部院に関しては一

しかしわが方は常径放機動部隊

戦王部隊は直ちにこれに同僚を加 際上を題を致行したのであったが 大型機一敗機が來製、二百夜トラック島に対 【中部太平洋〇〇基地四日同盟】

ギニヤ陽のウェワク方面に特に演 「ラバウル四日同盟」三月世一日 あったスマルク諸協、ラバウル・ニュー | わが方地上の撮影は懸徳であった 曖昧と

午後にわたり敬服機匹一百機がラ わが万地上の撮響は響動であった変融積僧の打撃を甦へて暫退した パヴルに來興、所在部隊はこれと

中部ナマタナイに嫩回にわたつて



願書四月入日記ので

好學務局長 處域光

核結・氣脚・腸胃

趣語門墨梭入風取儀につい

総殺されるに至った 夜間教授)

でもり、大公年度

八に、菌力



攻略を加へ成果を膨脹中であるが、 本學 ◆**考查**四月九日 午前十時

は地域テスレー別頭の加き組織を ・ 在の部里を報告、欧野ナベきもの ・ なの部里を報告、欧野ナベきもの ・ は、一 ないのでは、 ・ のでは、 ・ のでは、



生必物資配給



**進を際け早くもダム西北方約廿キー** 防空體制强 五本 大學 法文學科校會內

七是會議 構整備等 「一生必物質財命の間店が帰生してあるでこれを無用せしめ、町面・ 腰側埋と地區的と前びつきを増加してみ、 がある。

結核菌に勝つ

のて現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA ので現れ血沈を測ればA のではない。 のでは、 ので

血液の還元法 リ性に弾化激元する事が 網の急所であつて

新學 頭に描くれオ





四日の高泉の際とおらて盛田の海 報告したその場覧は左の如くであ 位の耐給に切替べる必要がに終ってゐたがこれは問費

質領内の野力などは

(<del>=</del>)

本語の大学を表示という。 「日本の一年」 「日本の一年 

光外組より最近の配際情感に属して報告があった後、質値の諸問題に対して政境の交換を行び向十二に関連十分物質した

では、大阪において、大阪において、大阪において、 (二) 競技力の領保(二) 登技力の領保(二) 登技力の領保(二) 登技力の領保(二) 直対 は、(二) の選択 の間接 に、、大阪において、 なり、是「政務関査可におい 百銭後、松曜大蔵衣官の説明を隠 

本院巡询は全部に依ける未開館、米上の事題質講習棋士五萬目の資業を受受するに至うえ、一切歩合及び年見記的機器時間に増製を受受するに至うえ、一切歩合及び年見記的機器時間の総共を「大年第六日標に耐する場際巡询の総共を「大年第六日標に耐する場

日銀割り貸(原泉監督) であつたのを日歩九厘五毛以上であつたのを日歩九厘五毛以上

上 されるをは獣然のことでかるが動
上 されるをは獣然のことでかるが動
上 質点をアルミナ・シンカー化り
世 質点をアルミナ・シンカー化り
は (7) 女祖が旧と妹当べるのまし
版 (7) 女祖が旧と妹当べるのまし
な (7) リーキサイト大場入倫
の (8) 経過ビバイベー・アルミ
ナ 野祖説僧に関連が出来るいと
ナ 野祖説僧に関連が出来るいと

本月末者くは來月上旬には護元計 が、この、内原祥ソーダは早くも 土質岩をアルミナ・クンカー化して、産アルミナの製造が開始に促進した。

間和十九年度地了級對は激数化量 間において銀計用であったが、各 認め領に線解が個。百五十枚側と なった。これを前年度後額に心臓 すれば一面四半三百十八萬間の すれば一面四十三百十八萬間の まった。この後者の単時は本年

億二

九年度地方豫算決る 一百餘萬圓

機能金利水源では何ら酸・アルミナ生機具體化と大なった。変配は左のした。 1、次次側項目として掲げられて のに「原体保険の水面」。 @田園 のに「原体保険の水面」。 @田園 のに「原体保険の水面」。 @田園 のに「原体保険の水面」と高機保証 現だられて、変貌した高機関版 理」を関保とする質付と」で、 卵ののの』を開保とする質付と そのセヤ「郷と日井」のは、上、 と、

對滿輸出は極力抑制

電要機械の登話統制を強化

の概管所の承認した需要説明書

の五頭目を主戦として成衆するこ

となった

世一大製造品製造が配分が集中されいてある。即当動産に前側し新角度と前側と新角度と前側と新角度と前側と新角度と対象の側が対象のが表現している。 日間が開発の単いは関係でルミナの日間が開発の単いは関係でルミナの日間が開発の単いは関係でルミナの日間のでルミナの日間のでルミナの日間のでは、アースに関係が開発している。 本の「九年度と近くが成立である。 「一般を選出しています。」とは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」とは、「一般のでは、」」というない。「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」」というない。「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」」というない。「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」」というない。「」」

「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、」」」
「一般のでは、」」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、」」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」
「一般のでは、、、」
「一般のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、

京た僧気影響用の進石煤五につてある。 様、会メントの研究とついてはこれ、成功した、同島動所は新越戦権的、所が混自らの影響とよって耐火、も解禁、相撲等の脚等のブルカン、作と可水性との両性性を乱削す、精練の場合に繊生する時間をなった。を求めセメントは耐火性の、かた新典・コールタール製造製造が、た、企業のセメントは耐火性の、かた新典・コールタール製造製造が、た、企業のセメントは耐火性の、かた新典・コールタール製造製造のかった。企業のセメントは耐火性の、かた新典・コールタール製造製造のからた。企業のローの大型の関係に対していませた。

・ サーボット側の取消に成功すると対、例かれ、その整軸回動和の最終さ 風 ・ 財産組織・ 置行限等の機道的、 供りなかったものである。 他つて で変形を完める住意成るセラフも 右方別を記せるのである。 他つて ではなったものである。 他つて ではなったものである。 他つて

的政権的は地区投資領軍からず

、その飛躍的増配を原縁されて極く推定に新しい用途が

原物から出登して研究する後定での問題を、今世はアセチレン系の

「東京電路」数攻曹では十九年皮

司信報公司の廿六名を北定した、

翼政本年度方針

昭和十九年度各道

院(於田)韓原(以) 出版 由 C 使 例 閣 議 定 例 閣 議

置することに決定し、同五勝年戦」の

ではないのでは、 一般ではないでは、 一般ではないでは、 一般ではないでは、 一般では、 一をは、 一を

夏綱上の戦闘のため小委員會のおこれを決定、さらに運動

のおこれを決定、さらに運動戦施のおこれを決定、さらに運動戦施 民総験起猟助性施奨制につき伍堂がい、まつ小芸真命の結論たる國

表現一版、合計一個問が追抜 し米度が終金約一般、土地時

. . .

宮町で州心・地震の間の窓がで見る。 一般の前側のに関する第三回連絡本機能の温めに関する第三回連絡本機能の温めのでは、大きないのでは、

リンといる特殊な顕微があり、こ

を図めてある、歴火煉瓦の窓道的・を図めてある、歴火煉瓦の窓道館の成績

製製、棉製、玉蜀黍の芯から所 次に同試験所は昭和十六年度に めてある

卷の所驗試央中

電波處理で

珪酸煉瓦

石酸

の合成にも凱歌墨る

根近時に運輸用染色の研究については、一次に染解部門の研究については 方法が工程にすれば党が別工程として行はれた歌台工程を省階して に成功したのである、從ってこの 紛難機能とる指皮域維を使用し

金属代用品等の研究に京西を置い 世芸芸を別案して私にの婚姻その

和の表面物に西面をつけて紡糸 

また時間の腰切削での他を原料という人間を持ることに成功した生物により関係させて相似的のマ

図る成果を無けつつあるが、更には、工業部門の成場例がは成めて大人

選問に関係の解析。原料等の関 一層選書的部誌を立て人研究を進 発明がいも追えれた既合成的なで、めてあるが、製物は第月の限定と

開発を心向くやうに関連する前 深冬の追鳴でする。 高周度の風 風温度によるは酸単五の製造に 小川野星自今間間に立つて研究。 を殴けてあるが大側形成の冒蓋 と殴けてあるが大側形成の冒蓋 と吹りいてるる。 なは特殊性 しがついてるる。 なは特殊性 は、正はは一線ながよずしも別性で ないとした受賞したのですりよ サイト、機関日、紅柱日の射撃 サイト、機関日、紅柱日の射撃 サイト、機関日、紅柱日の射撃

たが、このほど従来のコールター を解注しって田村及び被服然の では自然間の活動を表況すること は解析の活動を表況すること は解析では 一個圏間的結構を立て、例記を遊

既し張草を捕りつぶして特殊なかれを指化すれば異常となるのに著

き、しかも物出売の晩好・聴味・厚・主に物出工物品の研究に主力を注・生に物出工物品の研究に主力を注・

さしる例で三個型の ではご完成の見。 はことを研究中ではご完成の見。 は、ことを研究中ではご完成の見。 は、ことを研究中では、ことを研究中では、ことを研究中では、ことを研究中では、ことをでは、 の脚踏をも研究してある を見てある、なほこの防寒吸地 人類金に不可解のゴム代用品の

、最近この一人の手質が困難なの 関連級のゴムを使用してゐたが この銃身クローム競金には役外

で同話解析ではその代用表質材として養を利用することに市場を必ずる。このまかと四月からは別さに耐容限がよして他 る豫定である 護术材の件能などを開连研究す

小児ストロフル ・ 原 勝 優 伊 展 歴 歴 歴 歴

ルス帯信答 "社会式标准工规建 是2006年

对暗尔英田林市户岭

四月

重要地方警察部内に警備隊

「田東南西」 (2000年) 日東南南西 (2000年) 日東南南西 (2000年) 日本 (2

し近く主要確認可を向いて登記される WASCIE MAが仕事され中除人 され大規入員は約百五十名で六 され大規入員は約百五十名で六 問題させることもある。 でする。 です。 です。 です。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。

たの数を記は大切な印文空路線

が三機位の

◎こより襲るが、普通は軍滅機

た。次次パ、高々度飛行のために破 素型人器を確(てをり、自時地 が完に移せ、療理大子メートル でが二百年食を推翻し所理時間 一時間中位、変な中以た面石十

開中といけれる。京場高で目下寸土を挙

ものであつと イツ芸技器の着壁頭止に離へた

参する空中神道を滅行すると シルチャを基地にこの空経験

一般的別点は滑口機の折く機関の近くでいたができるものもある。

で、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、

サム州ハイラカシデ飛行場へ ◇…この大晃龍版線に初めて

印度アツ

整へるこの中間地區に 後背に

でかんとする二つを主目的とす フーゴン地域の米が正線型と握 テレ、見下総数を楽川の安全に であるレドムをを楽川の安全に 空挺隊

印緬戦線に敵・

わが田の徳政に奇と空間を観測 だが、奇製版機を慰板とするマ

として森を除さんとしてある

され今や傾印脈源の第三の過期に

第四日初色 といはれたも

破大谷部落の三石七斗七升、 次と都特の成断に至っては反答

⇒・航空戦史に記録されるグ

過ぎで掘かへし土管を軽くて下

自己を守るには機関統位しか持

でなく劇闘砲、動威車砲、山砲

のこつである

ことなどは突延隊の致命的援助

野に対しても殆ど無例側である

なる努力に對し遠腔の必定と記述一名、真動物の二、六名等で低落せ

八%である

を表する次第である

の原原なる折視かくる好成績を繋件の極めて黒く而も各種達材物資

で なる成績を無が皇歌の後だしかっ であっても相當の成績を示っ して居るのである。 明力面の二石二斗五升等他に優秀。 龍門面の五割、反常収穫時に於て一 なけ得なる比較に後間海影響ののかか加に続い、現実計量等行上財米の例が、国際を製用の常成比別が、開発計量等行上財米の例が、日本の別方に対して必要に対したが、日本の別方に対して必要に対したとは影響が高い。一般に対して必要に対したとは影響が高い。一般に対して必要に対したとは影響が高い。一般に対して必要に対したとない。 一次に本年はいるの意味を確立するにある。 一次に本年はいるの意味を確立している。 一切事業をおりませい。 一切事業をおりませい。 一切事業をおりませい。 一切事業をおりませい。 一切事業をおりませい。 を実施で開き続けてある。 此の 秋 に省り盟村に於ける最大の伝統は、 一粒の米も多く取って食物間に海

二石七斗七升響

反當り最高收穫高

世間田崎二、東田県高湖、日本フ、古れた総領田地よる県高海 電の地田により命と軍職出された。丁寧山県横を中心とする生態があるのである。周忠を指する諸書・李徳昭王職させるが、半端に直積 ちゅうかい かんしゅうしゅう しゅうしゅう の 解内メーカーに対する製品版は急 の 解内メーカーに対する製品版は急 原な増大を繋がされてあるので、 が関うしてあるので、 いたを十分終記し映へられたる質の力を振って運動された。独特さられる建築中、の力を振って運動さられかとを留 維穀人荷促進

が一般の関心を見て見られてあるが、本年も独地の人類が開き版文郎は は、本年も独地の人類が開き版文郎は としまたい歌師を示してあるので、 の変形では解釈園に舞りて修造等 に関いて演を開始すべく、三日午 明り子間を開始すべく、三日午 国の組織兵士と7mmを大な威車ニー 国の組織兵士と7mmを発すりに示 スイの中間地區で過去級目側と示 の信明によれば東都戦級中部地區

の前々邦迄に攻闘の衛工局企法課 漢州側の理話は四年初毎と管診塔

ブルート渡河 ケ旅門の大半を魔滅戦闘力を有し マニヤ重壓

マがあてが東京として で加めてが東京ブルート河田流を 被河、ヤツスイ東国際と他帯して あると確実した 

が、資料の単二素の設定の限して顕し、一、配集機能は順半に減せし信息

物情指数(熊一月中の脚質)

これを削りの二五八、五匹比較す

謝州國の軍工警報題を反映して顕

に依つて一四半期毎に決定すること ながった。而して鹹工扇として、 な戦内の都着推撃に対限し到戦節

最新健胃緊膓薬です殺菌の諸作用を綜合的に行ふ新ヒオタミンは制酸吸着被殺 の次数末経川三年屋・小林製物株式會社 定價 五十鏡 一門 138

1 職職をおいれるのは、大名、小総の、五、の名、玉海の七、大名、小総の、五、の名、玉海の七、大名、小総の、大名、小総の、大名、小総の、大名、小総の、大名、小総の、大名、大名、大名、大名、大名、大名、大名 が、前年向月の111七、〇ピ比較 が、前年向月の111七、〇ピ比較 を が、前年の月の11七、〇ピ比較 を がいた。 | 一月小査 | 上野部の | 一月小在 | 上野部の | 上野帝の 日から新機械によって設定、事務に関係を設書・概称、生産、指導に関係を設書・概称、生産、指導に対して対し、事務に対し、事務に対し、事務に対し、事務に対し、事務に対し、事務に対し、事務に対し、事務に対し、事務

十七ヶ師を

生さく基胎 小兒胎審事門薬 が下さい。 毒





た明鮮水産業畜は、豫定の姉く 重度協、工業家結果 重度協、工業家結果 動調化方面に多数重要があった。 動調では大阪に、 の調では大阪に、 のでは、 サガザの四方サニマイルの地略に リ、同市はより開戦監府関策上の リ、同市はより開戦監府関策上の リ、同市はより開戦監府関策上の 恋 代製機關として育成

京随間理事

感謝の默疇を添けなせう 身階みを濟ませて

在影响を登合した。 命海州交店長▲

シなどで極度独行中とい

五十六マイルのホロホ も攻略を弱化し、自下

と
新を織けして
関名の
受情権
にを
関
てこれが
度効を
利すべく人
等の
は
では、
全炉の
不が総態
方針
に
は
感
し 更年期障害 生理障害 生頭類少 生頭不和 - 生頭類少 生頭質 馬頭

ペレシンカ四方で、1日頭小脚 - ペルシンカ四方で、1日頭小脚 - では - 田頭にはジューコフ頭が てごは 一角でで、個を原用したと 新を飲べた問題の「囃士セー」

朝木人็異動

台 ガテル型

1000 E

@ 近田發寶品

一般中含石炭 五〇ガンマ

四級、疫

R大 紅霉式株梁工品黎田武 元質對近經

半島に一定年齢層男子の徴用

一個の物・能も、近にする。ことに行うれたい、微むべき解決にいかくってあるが、今度はこれに続いて到職をがは、「他から能となってある。人と物が無常、「他なくき解決」にかくって記力策略にある。人と物が無常、解とない、なってあるであるが、今回の一般都用もないとなって説明しいというで記力策略によった。ことに行うれたい、微むべき時では、たてあるそうであるが、今回の一般都用もないとなって説明しいとなり、 たいことになってある。 本間に、女子もが用する。 悪気が、悪いないに、 ないことになってある。 本間に、女子もが用する。 悪気が、 というとのに称り、 ないことになってある。 本間に、女子もが用する。 これに関いている。 これに関いない。 これに関いている。 これに関いでは、 これに関いている。 これに関いている。 これに関いている。 これに関いている。 これに関いている。 これに関いでいる。 これに関いている。 これに関いている。 これに関いている。 これに関いている。 これに関いないる。 これに対しない。 これに対しないる。 これに関いでは、 これに関いでは、 これに関いでは、 これに関いでは、 これには、 こ

ないことになってある。
ないことになってある。
ないことになってある。
ないが、戦用と観覚は最本的と計算るものであって、半島の別いが、戦用と観覚は最本的と計算るものであって、半島の別いが、戦用と観覚はまた事態女子の八名を製してあることが、

押し始めた織左と見てよからう、

問題全般に亘って威力偏暴を行う 結果行動を起したものであらう

地域で生力を集中しなければならい。

配って、

聴でも可でもない、一覧然有得べき かけて死る前の機動部隊がバラオ

末次信正大將談

に賊局が戦級するのも決して遠い

ない、をが今回は日本の力を修築

和現の底力を見せようではないかれる場の底力を見せようではないかった。

上らなければならぬ、さうして大

カイロ水間によれば、イタリア、ニュージーランドに返還する手管

戦の思ひやりに感動した。富名少

新西蘭師團全滅

層なものとみられてある(マドリ

| 三国除和法に上ってあるが合

品面に減じこれ以外の風方を禁止洗眠事は一種にする等権が四十五

出交本 所居祉

給機運輸を狙ふつもりで大きく だ状たので、あはよくは日本の福

○一寸の光酸も穏々じること本めて「対域に効量して関素のためお」○一寸の光酸も穏々じることを関下した。○一寸の光酸も穏々じることなり、

・簡牛次長北京へ図民際

無線通信體質的關於

に見入る佐原君】

在交半局人質情機等、特と徹長適

今御來院の際は新來患者でも再來患者でも投襲瓶の入手愈々困難となりましたので解

問智所(萬朗総無線通信學校)は、簡り議信局に修修された無線電燈

野に関する打合せの過五日・風

既任した、なぼ第一四入所者とな

カロリン階級南方準上で観覧で致ったの他関係、パラオ、マーシャルその他の有力を機関部隊に対して取り記言。 こうべんての他の方面で取得自因の攻勢為人無線総がして九日内南洋に縦入して楽を観の有力を機関部隊に対し

カロリン戦果に末次、中村兩大将談

敵襲、驚くに當らぬ

近く實施される一般使用を前に「衛用」の順の数を呼味しよう

国際用党が機動され、自然総合の社に職権男子に収えの職職局・とののため、国際用が疾患される、すでにある。一月人日建高級用とよる回り、関係を持ちたれる。

本中・日本大
において、「日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、日本の日本のでは、 ▲ 英班路 . 金光、金南、慶北、陽 | 回路圏

▲ 近天照 英海、本南、本北、沿 百分十名、班县三名 一百分十名、班县三名 五十名、班县三名 「田京市活」院園園が同では第三、 藝術院賞 豊竹古製太夫に

文館(Clin) 町欒(三部)につき 月四月總領を開き、寛弥(二部) 回島國總院監登賞者について去 原市 西區北郷江道 三ノ六)は一家市 西區北郷大湖、野竹古椒太夫求(大松郷太湖、野竹古椒太夫求、金田(首樂)豊竹古椒太夫求、金田(古樂)

する文献の蒐集においても二十 米人の心理的破綻

が、ゴカレストの韓語歌はこの専一やなはら歌歌文明機識の「野蛮語」文化版散が無難に破壊されてゐる「はアメリカの野歌的「帰拓游詢」

けて、アメリカ特別の

神とが生れなかったらうといふの

要は國民の覺悟だ では、一般の変化を表している。
の風和取職りの第三の歌と、一般の風和取職りの第三の歌と、一般の風和取職りの第三の歌と、一般の風和取職りの第三の歌と、一般の風和取職のの歌を見いません。 が、最近のニューヨイク地はシカ じてある(リスポン酸) の同席者を政協する等の採件を報

こうて仕合さ、卵が入間され、一般の食用に

兵はエジプトのナイル河上派マー 受けだといはれる。それもの登場

で服を探し営てようとする技師をとが判明し、レオン地方の山々は

ちや地方民で励ってある、その埋

際が競見された、臨門家の関査に スペイン北部のレオン地方で、

都市に及び、無熱の市民の影響は、もアメリカ電影前に選てられたもの思い的な影響は全欧洲の各 昭念物で宗教的建築物は、いつれ 米の鬼畜盲爆 工権 一といふのが デムブール 1 起の 六郎、吹は井部と・砂であると 1 年本報 ンの大教育繁やカツシン(戦略) ロ 性の経過法 1 十五章リを書いたも 1 年のサン・ロメンツ・教育憲法 の大郎親して宣傳してある・フス ユーと来源しようで歌奏された節曲術 ボン響)

果に安堵するどころが益々戦闘の 呼吸してあるが決して取事は行 決赦を固め、今事らに成力を敬信 度々内ではへやつて死るかも知れ は戦争は最かい、敵は短期態で 必要なない、これからもぬは 揮毫に託す温情

シウを戦が日本の是下カロ はこっちのもので面白い城南が近地でで来たといる戦略を国 明するだらろ、天が城を叩くだけ、でて来を明られている戦略を国 のまた様や里郷を返るのが総称だって、天城を聞いるという 竹首にまつわる練情感

本社連報板に沸く決意 大年間の部所がなべた東京が年は 大年間の部所がなべた東京が年は 服からかへした脚を覧て上げ、そ

九催不可註

もる波動と感動の跳状を領域に納 め、日々の心の間としい際に聞ん も優等で卒業、京城中學復の

受験がする人様影響的でなって「干を関手に開出意思でお願う出かい解析は見事を見る適用だ。際の「日曜、再び議師六十五憲と記書者と記書者という。 も見事道つたが、これも情极恒軍

薬を征伐 藥局法一部改正

られてある、欧正の主なるものは 品を一掃して次の十五種熱規格に でも三百餘種類により合作的も怪 いものが多いのでこれら

わあ!でつかいなあ

型送することがごまなてはく、近辺含有量を思ざした 一、ビタミン人一肝池、即肝池、 の代用品世用が展りされた。

ベン色が、酸より大きい美味しいベン色だ、酸より大きい美味しい

半島の

慶南も割當てを突破 翼心凱歌 今日からボクらは

うに数語へパンを理な形とりも続く 食物成者が大多数、高型半の情感から四、五名づうの管管が過しさ、かれずとの最終課長の間ひにパン

榮養も満點、學校給食始る

10第一日、四日の既かた風思で

たは去る一日から日本際最近の欧 信ははいるとを

名變更謹

交通局際建女子接客員募集 (別海県野県大阪県東北海県 (東京市) (東京

り、京流の二階が単倉軍支配人をは組織医疗学し列半段軍立の人を出願のより行所に置いています。

**はいれる。 有限別社大昌工製庫** 十九年四月一日 告 木建調的資源

日午後一時二川丹磯上町八番山二川華樹小田子及一時 丁分 死去致し候につき 列第50 艮 勢イタボ

四日午前十時十分永眠被遊俠につき名祭校長士成陽殿氷らく御病氣の處 题 子王 李 儀

華 循小學

顧明、舞問為以、大島開進、

値上げをご存知ですか

府内の郵便局、料金不足に悲鳴

る約果となり、相互の迷滅ばか

らの消費がです

場でも断然

在在成立队 按近域及队

概と道班は次の弾りである。 

今年も全鮮から六百餘名派遣 現下の利用な観光を観とら作り、一般であるぞの窓中、同語で取行を現下の利用な観光を記していましています。 では、世界ははの思想を発展していませんが、世界の大学の変化・可能である。 とので近く | 行ふことも独定されてある、各道

の中国語に身を以て解析させて

を動員して集中行便することを定 を六月一日から卅日宝で観め奉仕させることに北定した 選戦財害年際の内地 が選ばなお手供ひさせてあた朝

道班毎に一名の内地

れてある、この伝統に一昨年四月る前後的

のだ、ときは京を吹ぶ、陰は の東京公園がそれを辿づけてある

活動か 必要となってきた 一方数間間標を記じすることな、 ろからであった、間壁に置ってはによってきなく、型としているで、これに背壁でる 裏盆 前火に重数が軽がれ、関部側を低けていまさらなく型と一点難か の用葉を同様でも添ったくとでは、ソスは大人に戦争を駆けせるのができると、

スペリウムの対象で、地下でとなった一日、 スペリウムの対象で、地域をないがせたので、中国主席は一地の対象が地域をないではなった。 やうに一般の注意を検討した。 思想をないました。 を関係をの出た場合してはほど、 数別の制度になった。 を対象があった。 を対象がある。 を対象が、 をがなる。 をがな。 をがなる。 をがなる。 をがな。 をがな。 をがなる。 をがな。 をがな。 をがな。 をがな。 をがな。 をがな。 をがなな。 をがな。 をがな。 をがな。 をがな。 を

機任の先生から助されて、消きま

は皆大舞びですから父兄の方は

出 生態極起るとなり前級へ一刻も早一日 大地行機を受めて、国民職工が前路 1 大地行機を受めて、国民職工が前路 1 日東町が近時が全 1

七日には早くもは北城県が日六十 八国國の側面観念突起、日八十三八国國の側面観念突起、日八十三

英靈偲ぶ綴方

れた、この日級方金銭は日木の 大雅ご納め軸削と供へられ、関 窓の結果、優待に入掘した金属 別が代表

えるを戒めるのである、公前以前

夜の訓練も行へ

知れ爆弾の威力器

を映いとひとかめるといるとは

の物が観察に最大されまで帰じる「吹ぎである。いまの地下は独所の開動作の基本

を取り通行人の心室を破功すると ・ との共行を引り回過に適なな脚 ・ との共行を引り回過に適なな脚

の近 以上大地の名の保護を作け、とし、心と自然があるとらっ、たとこと、 の近 以上大地の名の保護を作け、とし、人と自然があるとらっ、たとこと、 の近 以上大地の名の保護を作け、といき自然・一番をもってすべて では、大きに対すれることは、「時候」 を構た地けるといく事が考な こと、「時候」 を構た地けるといく事が活する。

第三丁目 和田 微化學 研究 沿 装着机

物を言ふり

秀 太

郎進藏

終で相

住所氏名を寄いた石従城する際籍用の衣

つては死職する最取勝兵に対し何 本土が味噌されるやうなことが必

周到なる影響が大切だ。これまで、監影、威力に到する正しい知識と 容がに対して最も大切な技下海の

4. 4

し空襲に動して如何なる場合でも

待選が、戦年のころでは、またはなてくるとはは物の近し

たは海年隊員は勤労署仕後前治師と配置する町村と打合せ中である 脱馬、液成、栃木、埼玉を麻留局がおび、見下本所臓員が振弾先の

靖國の遺見が感謝の献納

は各形域、北海道、明は各形域、北海道、明

いことを可明したが明鮮でも女とものとして、これを質問しなるものとして、これを質問しな

のは女子の徴用である、 しては聴覚においても問題と

軍業主と臣民が問る者であ 學ぶ内地の營農法

関用は影響者だ足のため國家

に生活困難が起る場合を療想し 後順の配ひと聞って名製める

定されてある

上流製な音を十分観的すると共に生観戦器の合理化、砂筋戦争の脚

脱離するところにある

開放原とで大ならに素

生じ、線用解除る器によって姚力を ・ ときは壊害に ・ なん、また。 ・ なん、また。 ・ なん、また。 常用会類用する語を総解用 この間度の辿用ようしきを得ない。 微用の發生と終了 | 衛用佐如上國家興歌の問題である。

すべく、东池限みを末代に明へるときは國家百年の大計に瑕媚を刻 の注意と科製的概象をもつて生産

毎月の鍛成日(定休日)を半日 関地方法は四月から湖一ケ年、配桁篠薫励を起すこととなつを 谷師説二古を目標に飛行機

整菌の一冊につきるのである ・ 朝鮮理容師號 献納へ蹶起

一つける精神は順召と同じく、身命

陣営に、勤労應召だ

れてあたならばざらに収集が戦大 民の期待する一大戦果が得られる つくあるから歌がこの上項長して のである、然しながらわ わが航空に力がもつと 要は國民の場恰如何である ぬことは敗めているまでもない。

し、歌に残りの、それでころか者し、歌の歌がなってなりのの歌がなっていって、本しる。 れたはり前の歌がなっていっ、そしる。 れたはり前の歌がなっていって、本しい。 中村良三六將談 しむらの機動が際がながいが高い 地で小艇にもカロリンを融ったで のでいた。 のでは、 畜生、來てみろ

湖を特して様をなかつた。 大水像 の果敢派がな女際によって巡 りの大快報である。 ・大本書が沈默してゐると考は ・大本書が沈默してゐると考は といふ戦災が称へられた、久しぶ 要解说、顺数以下四级天晚炎上

激策、九ケ月間の販覧経験が認め 用ひ地大する需要に願じようとす 機能などによる代用品をとしく 本古来より似はつてゐる関係な和

林式會社朝鮮海 

出 公 告人

#

インチキ賣

0

ヒタミン人油、ヒタミン人カプ 扱取險保爭戰

僓 権中

尚は御持念せらるる投樂瓶は何れの病院の

に至りましたので悪しからず 御諒水願ひ

ためつ、だからというてわが部隊とある。だからというてわが部隊 と同意する必要がある。この観要 に 在言ればならぬ、 歌が 近づけ

〜路式しき機嫌と及心〜〜2000 | 少年易き場構成 | 「寸光数不可動 ・遊ぐる一月廿三日本路湖阡湖 | 窓賃询賣富宮 | 板原状凹地器 板垣將軍で菅原少年 理密した語で属圧器とベンジルが「顕著国展地運動場とおいて大恵田」と残り香りも生水しい「現の語を「顕漢地部府競表―七日午前十時、

年見七字雅成一寸 合同海軍葬 七日鎮海で執行 型々で京城を出る 北京に向った 林、婚天を巡回して本月茶園社する

本 第二部 普通科 宮陽神 上 整头有原,大学 顶、照隙, 美 上 想头 目间形成。 今并填、 中面和 和 通时。 头谷和, 水岩一堆 一 百 水田 项, 大名和, 水岩一堆 一 百 水田 项, 大名和, 水岩一堆 种 伊米正境, 中有蒙, 真鱼 随 一 百 水田 项, 巨木幅上, 为由 种 伊米正境, 中有蒙, 真由 时 种 伊米正境, 中有蒙, 真由

京城女子醫學專門學校繼院京城 醫學 專門學校 醫院京城 病 立府 民病院京城 新十字病院京城醫學專門學校醫院京城醫學專門學校醫院 ものでも差支へありません

必ず投票紙を御持窓願ひます若し御持窓な

むなく水渠の調劑を御跡り申上ぐる外なきき方に對しては甚た御氣毒に存むますが出

投薬瓶の活用に付御願

雅口、嫉働、南迎。 盤谷 を口、嫉働、南迎。 盤角、徐州、 芳泉、 光阪市東區不明三丁自廿七ノ急

有 用効冷 光 法 意 優 秀 在 片山大志郎 全部的文章 一种山 一种 子 一种 山 一种 子 一种 山 一种 子 一种 山 一种 子

魯祉名紫麗三友商店京城支店 新社名 三友殖産艦京城支店

株式曾吐二友而店は四月一日を以て社名 を左記の通り變更仕候に付此段謹告仕候 京城府長谷川町七四番叫(近隣ビル二関)・ 社名變更謹告



場處於日京

場劇一第

場劇陸大

館花浪

館樂喜

座富新

館畵映信和

場劇花桃

座日朝

座治明

劇

告

場劇南城

文日三日本も

書ス

京

決

学01 学17 へ00

**●**戰

劇

一日本二ユース 一段の飛行機工場 一人のである。 一月本二ユース

城

决

戰

寶・

でのできてき

場例央中